
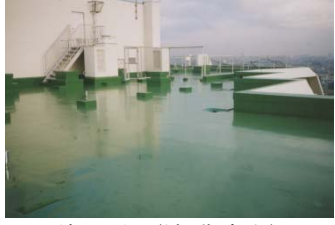
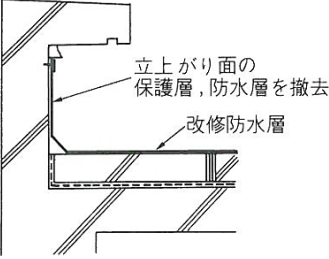
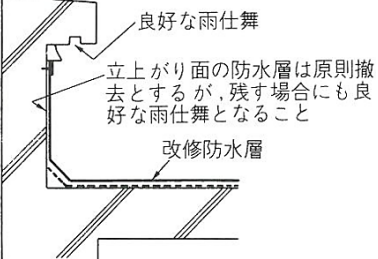


| |
|-------------------|
| 最終更新日 H25.3.1 |
| 改修技術 No. 11112105 |

| | |
|---------|--|
| 性能分野 | 耐久性・耐用性 |
| 大分類 | 劣化部分の補修、外力の緩和 |
| 中分類 | 屋上防水改修 |
| 技術の名称 | 屋上防水のかぶせ工法 |
| 改修技術の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋根防水の改修工事には既存防水を撤去する改修工法のほか、既存防水の上から新たな防水層を新設する「かぶせ工法」がある。撤去工法と比較して、かぶせ工法では①撤去および廃材処理費用が掛からない、②工期が短い、③施工中の雨養生が必要ない、④産業廃棄物の発生を抑えられる、⑤撤去時の騒音・粉塵の発生が無い、といったメリットがある。 ・不具合な膨れや浮きが防水層全体にわたっている場合、既存防水層と下地との接着力が不十分な場合は全面撤去工法とするのが望ましい。 ・かぶせ工法の場合、主に下地の種類によって下地調整が異なってくる。下地調整後は既存の防水層・保護層に合わせて新たな防水層を新設する。基本的に既存防水と同じ材料を用いて施工するが、異なる場合もある。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 検査 → 下地調整・補修 → 防水層新設 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>既存防水層を下地とする場合</u> 既存防水層表面を清掃し、水洗いを行う。損傷箇所、ルーフィング相互の接合部等のはく離箇所及び浮き部分は、切り取ってポリマーセメントモルタル等で平坦に仕上げる。下地調整後、防水層を新設する。 ・ <u>既存保護層を下地とする場合の下地調整</u> (i) 表面に付着している土砂、こけ、草木及び脆弱なコンクリート表面部等を、けれん棒、サンダー、皮すき等を用いて除去する。除去後、全面にデッキブラシがけを行い入念に清掃する。高圧洗浄を行うと効果的であるが洗浄水の飛散防止養生、排水ドレンの詰まり防止措置として、金網でドレン回りを包む等の処置を行う必要がある。 (ii) 既存保護層の浮き部分の除去跡や欠損部は、ポリマーセメントモルタル又はポリマーセメントペーストで補修する。 (iii) 既存伸縮目地が突出している場合は、サンダー等で取り除き平坦にする。 (iv) 既存保護層のモルタル仕上げに浮きがある場合は、エポキシ樹脂注入又は既存のモルタルを撤去し、ポリマーセメントモルタルで補修する。 下地調整後、防水層を新設する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工前（保護コンクリート）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後（塗膜防水）</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">（出典：関東防水管理事業協同組合 HP）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;">  <p>立上がり面の措置の例 （左）保護防水、（右）露出防水</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">（出典：外装仕上げおよび防水の補修・改修技術；9：屋根防水の補修・改修技術、1993年（財）日本建築センター、（財）建築保全センター編、建設大臣官房技術調査室監修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修後の性能 防水性能の回復 |

| | | | |
|------------------|--|---|--------------|
| 共同住宅のタイプごとの技術の適用 | 技術の種類 | <input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術） | |
| | 共同住宅のタイプごとの適用可能性 | S55 年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1) | 使われる可能性が相当ある |
| | | S55 年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2) | 使われる可能性が相当ある |
| | | S56～H2 年供給(総プロB) | 使われる可能性が相当ある |
| | | H3～12 年供給(総プロC) | 使われる可能性が相当ある |
| | | H13 年以降供給(総プロD) | 使われる可能性が相当ある |
| | (補足) — | | |
| 常にセットで利用される技術 | <当技術を適用する前に実施する調査診断技術> アスファルト露出防水の調査 (No. 21112101)、アスファルト保護防水の調査 (No. 21112102)、シート防水の調査 (No. 21112103)、塗膜防水の調査 (No. 21112104) <当技術を適用する前の劣化部分の除去技術> 劣化部の除去工法 (No. 11111101) | | |
| 技術が適用される建物の部位 | <input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 (<input type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部) <input type="checkbox"/> 専有部分 (<input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専有部分) [設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 ()] <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令 () | | |
| 団地で適用した場合のメリット | <input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること (仮設以外) () <input type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い () <input type="checkbox"/> 特定の設備があること () | | |
| 足場の設置が必要 | <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 (工事の内容・状況によっては該当しない場合がある) | | |
| 工事による居住者への影響 | 数日以上居住できない住戸が発生 | <input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 () | |
| | 一時的な影響が発生 | <input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 粉塵 <input checked="" type="checkbox"/> 臭気 <input type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 () | |
| | 工事後に続く影響が発生 | <input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 () <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響 () | |
| 当該技術が利用される工事 | <input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上） <input type="checkbox"/> 耐震改修工事（ <input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上） | | |
| 技術的境界 | — | | |
| 参考資料 | 技術情報 | ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成 22 年版」（財）建築保全センター ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針 平成 22 年版」（財）建築保全センター | |
| | 価格情報 | ・「マンション Re」（一財）経済調査会 | |